

【様式24】

提 案 の 概 要

施設名： 中村公園

団体名： 岩間造園株式会社

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

【中村公園の役割】

「歴史・文化資源が豊かな公園」

秀吉・清正ゆかりの史跡や、記念館・豊頌軒といった登録有形文化財の保存活用が求められる。

「まちなかの広域緑地」

豊國神社の鎮守の森と一体となった都心の貴重な緑地であり、大径木が心地よい木漏れ日空間を形成。フジやサクラの季節には大勢の人で賑わう。

「地域活動の中心にある公園」

春の太閤花見茶会、5月の太閤まつり、中村公園夏まつり、10月の区民まつりなど、年中を通して地域の一大イベントが開催される。

【中村公園の特性】

「地域の方々に愛されている公園」

中村公園振興会、公園愛護会、中村まち歩きマイスターの会、秀吉清正の公園をつくる会等、公園の運営管理に協力してくれる市民団体が多い。

「協働できる近隣施設が多い公園」

中村公園文化プラザ、中村スポーツセンター、名古屋競輪場、豊國神社、常泉寺や妙行寺等、イベント・講習会で協働関係を構築できる多種多様な近隣施設が多くある。

【管理運営の抱負】

これまでの7年間で、公園内の大径木の剪定や低木の刈込み等によって明るい園内空間が創出され、不法投棄ごみの大幅な削減や、園路補修による通行の安全性が確実に向上した。また、各近隣施設・地域団体との連携を推進し、利用者の方とも顔の見える関係性を構築してきた。今後も、「安全・安心・快適性の継続的な実現」を根幹に据えながら、地域密着型で市民との協働を推進し、隣接する名古屋競輪場のBMX競技コースの整備とともに予定されている東園の再整備をきっかけにスポーツを楽しむ機会を新しく創出していく。

【維持管理方針】

★ 安全・安心・快適性の追求＋「感性」(美しさ)を大切にする創造的な維持管理

施設管理 アメニティー巡回、園内のごみ・落ち葉清掃、トイレ清掃、雨水桝・排水管の定期的な清掃、池の水質保持浄化、園路の通行の円滑化、季節の花の一輪挿しや花飾りの配置、茶庭の筧の定期的な交換、予防保全的修繕の推進

植物管理 林泉回遊式庭園にふさわしい維持管理（景観に配慮した大径木の剪定等）、池のまわりに景観性と生物多様性を考慮した水辺エコトーンの創出（下草類の植栽）

【中村公園のめざす公園像に資する提案】

地域が誇る歴史と文化を引き継ぐ公園

【1】秀吉・清正を中心とした歴史と地域文化の拠点としての公園

- 歴史的価値の高い記念館・豊頌軒の保存活用、市民に広く公開・情報発信
- 桐蔭茶席でのお茶会、茶庭の良好な維持管理の継続
- 中村公園界隈の史跡や秀吉・清正の歴史にちなんだイベント・講習会の企画
- 中村公園文化プラザ（中村図書館・秀吉・清正記念館・中村文化小劇場）との協働



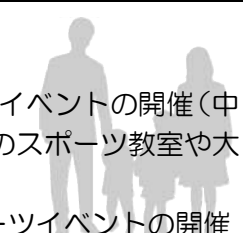
【2】歴史とともに育まれた緑豊かな公園

- 中村公園独自の景観を形成する植栽管理 ～「100年続く中村の森」を目指して～
自然樹形のマツが林立する風景、開園当初からのケヤキ、クスノキの大径木がつくる心地よい木漏れ日空間
- 大径木の切戻し剪定による園内環境の改善
- 公園緑化木として画一的に切るのではなく、茶庭や記念館周りの樹木は庭木としてとらえ、感性を大切に剪定を行なう
- フジ、サクラの名所にふさわしい花付きを良くする適切な管理
- 景観の主軸にある太閤池・ひょうたん池のまわりの水辺エコトーンの創出



【3】歴史・文化の要素が融合したにぎわいの場として利用される公園

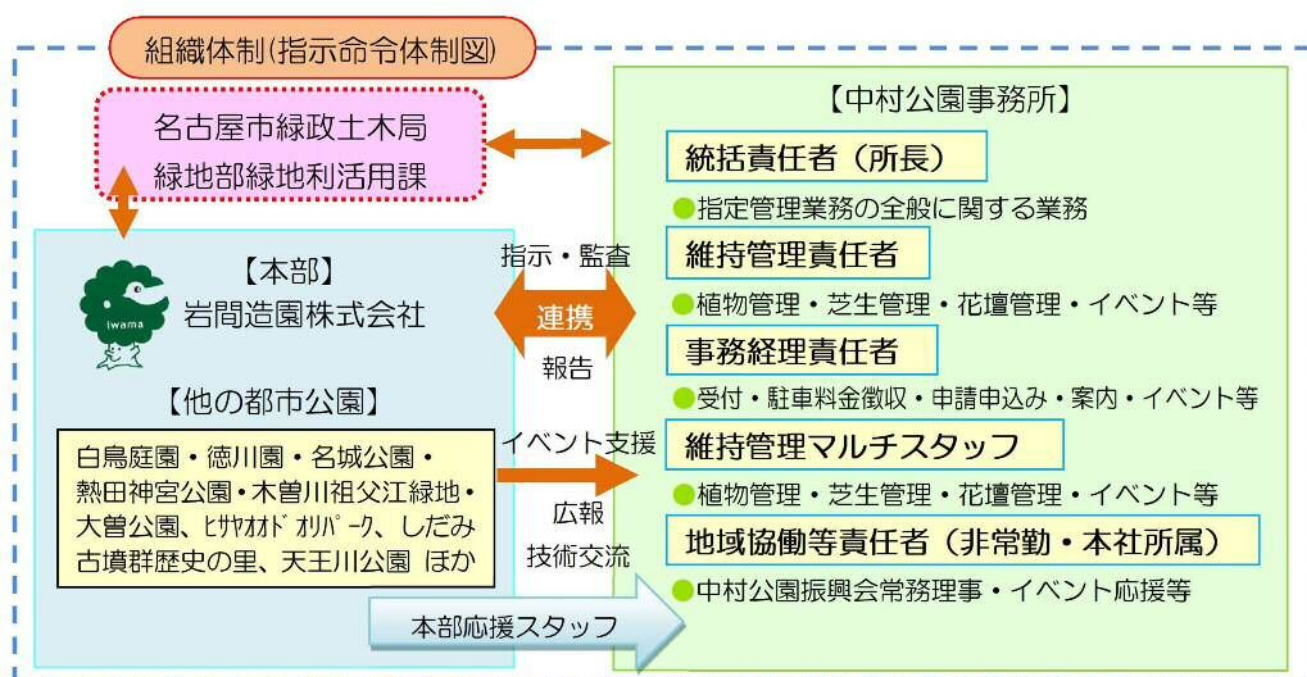
- 周辺文化施設、地域団体、市民、ボランティアの方々の活動・活躍の場を提供
- 歴史の再発見・新しい文化の創造・観光拠点となるための新しい試み
- 人が集まり、年中を通して「地域活動の中心にある公園」になるための集客力のあるイベントの開催（中村公園端午の節句、なかむら JAZZ Fes.、中村公園スポーツ DAY（こども向けのスポーツ教室や大会を新たに企画）など）
- 2026年アジア大会に向けて再整備される東園にて、名古屋競輪場との協働スポーツイベントの開催



②管理運営体制

【組織・人員の配置・体制】

下図のとおり、名古屋市との確実な連絡体制を維持し、本部である岩間造園の各部署および他の指定管理公園との連携を図り、専門的な技術力を発揮できる組織体制とする。



【本部または現地で実施している独自研修の一例】

項 目	内 容	職種分類	回 数
接 遇	サービス向上・ハートフルな接客 クレーム対応研修 障害者対応（高齢者疑似体験講習、バリアフリー研修、障害者差別に関する研修）	全スタッフ	年 1 回
技術・専門	植物管理技術、樹木点検講習、造園技術者の能力向上、環境教育に関する研修・公園施設(遊具)の点検研修、公園適正利用指導研修、指定管理者合同研修	維持管理スタッフ	年 2 回～
緊急時対応	消防訓練・緊急時の対応訓練・AED 講習研修	全スタッフ	年 1 回
	普通救命講習（定期的に更新）	全スタッフ	1 回/3 年
	防災会議（名城公園・白鳥庭園と共に実施）	所長・担当スタッフ	年 6 回
市民協働	プログラム企画や能力の開発、マニュアル作成	全スタッフ	随時
基礎的技術の習得 （OJT の実施）	管理運営方針の確認やマニュアルの作成により、日常業務を円滑かつ効率的に遂行 スタッフミーティングによる情報共有	全スタッフ	随時
コンプライアンス	法令遵守教育、個人情報保護の徹底した指導	全スタッフ	年 3 回
パークマネジメント	(一財)公園財団が主催する講習会への参加	所長・担当スタッフ	年 1 回
	公園管理運営士会による情報交換・講習会参加	所長・担当スタッフ	年 1 回～
	自社および他社の公園管理運営事例の視察 （白鳥庭園、鶴舞公園、揚輝荘、東山荘等）	所長・担当スタッフ	随時
	公園経営に関する異業種交流会への参加	所長・担当スタッフ	随時

【災害時の危機管理体制および事故発生時の対応】

大規模災害時には、速やかな緊急時体制への転換を行なう。本社に「災害対策本部」を設置するとともに管理事務所には「現地対策本部」を設置し、連絡通報係、避難支援係、安全点検係を置く。初動対応としてお客様の避難誘導・安全確保、園内・施設の点検を行い、市の各関係機関との連携を図る。日頃より、防災訓練・情報伝達訓練の実施、発災時のルールづくりとスタッフ間での共有を図り、発災時に迅速に対応する。

【施設の修繕】

予防保全的修繕を方針に掲げ、「利用者の安全・安心」「利用者ニーズ」「歴史的建築および庭園の価値を高める内容」等を考慮し、予算を 1. 定期用費用（毎年必ず実施する内容：遊具点検 C 判定の遊具の検討・修繕、公園灯の修繕など）、2. 緊急・応急用費用 に振り分け、計画的に実施する。

（２）実施業務の計画について

①指定管理業務

【利用者サービスの向上策】

- ★ ほまれの広場の芝生で、ござ・レジャーシートの無料貸出
- ★ ハッカ虫よけスプレー貸出（施設利用者、イベント参加者対象）
- ★ 高齢者への配慮 記念館・桐蔭茶席でのイス・テーブル・絨毯の貸出
- ★ イベント時の授乳スペース・おむつ替えスペースの臨時設置

【お客様の声を反映させる管理運営】

イベント・講習会 ⇒ 好評だった伝統行事の親子イベントを記念館等で今後も企画する。
施設利用 ⇒ 記念館や桐蔭茶席を気軽に見学したい要望を受け、今後も無料開放日を設け、施設の紹介動画などを広く市民に公開する。清潔で明るいトイレへの要望を受け、祭りなど繁

忙期には清掃回数を増やしたり、花飾りを置いて明るい雰囲気づくりに努める。

公園の情報発信 ⇒ 中村区外や新規利用者層にもっと届くように、情報発信ツールの拡充、イベント・講習会の発信方法の見直し（事前告知やライブな発信、開催後のレポート）、HP のリニューアルを随時取り入れる。地域の観光マップ等も合わせて、HP 内の見やすい場所にリンク付けし、地域情報とも連携する。

【市民ニーズ・要望等の把握と反映方法】

①日常の把握 お客様から学ぶ	お客様とのコミュニケーションの中から、感想、意見、情報等を伺う
②アンケート調査	イベントや講習会時にアンケート調査を行ない、感想、何で知ったか、アクセス方法等を伺う
③お客様満足度調査	お客様満足度調査を実施し、分析・検討・ニーズの反映および改善。 お客様の声をデータベース化し、季節や属性などによる分類でニーズ把握。
④地域との意見交換会	意見交換を通して「まちの声」を反映させた管理運営を行なう
⑤従来のご意見箱に替わる方法の導入	より効果的なアンケート収集による本音のニーズを把握。イベント時に屋外に設置し、参加して楽しいタイプのアンケート方法を新たに導入する。
⑥Web 上の情報収集	トリップアドバイザーの口コミ、twitter・Instagram・Facebook のハッシュタグ検索(「#中村公園」で検索すると中村公園に関する投稿をまとめて見られる)
⑦ボランティアさんとの連携 (パークモニター)	お客様目線で園内を注視していただき、異変・変化があった際には報告いただき、迅速に対応する

- ・受付けた要望はすぐに担当者に伝え、迅速に相手に回答。対応の基本は、苦情要望者の意見をよく聞き、公共的観点から法令に基づき的確に判断し、公平・公正かつ誠実に対応する。
- ・情報共有を図るべき内容について、全職員および本部と情報を共有し、対応の報告・公開が必要な場合は、園内掲示板などで掲示する。

【中村公園特有の植物管理】

フジの植物管理

花数の回復、花房の長さを出すための花芽の選別を行ない、「フジの名所 中村公園」にふさわしい管理を行う。お客様がより間近に花を楽しめるよう、下向きの花芽を優先的に残し、枝が棚の下に伸びるよう誘引する。剪定枝はクラフト素材として、再活用する。

松の植物管理

大正天皇お手植えの松をはじめ、園内の景観において主要な松に番号を付け、毎年の作業内容と方針を記した管理台帳を作成する。中村公園独自の野木の松の景観を維持する適切な整枝剪定管理を行なう。

【魅力増進・利用促進策】

公園全体の空間をもっと活用して、歴史・文化・自然と、新たにスポーツの融合を図り、記念館等の既存施設の利用促進、地域との協働を促す内容を企画する。

新規・発展企画（抜粋）

★ 中村公園 端午の節句 ～甲冑を着て戦国武将になりきろう！～

毎年恒例の甲冑着付体験を発展させ、甲冑を着ながら園内をウォーキングするイベント。

★ 歴史ウォーク＋（プラス）＆歴史にまつわる植物おもしろ講座

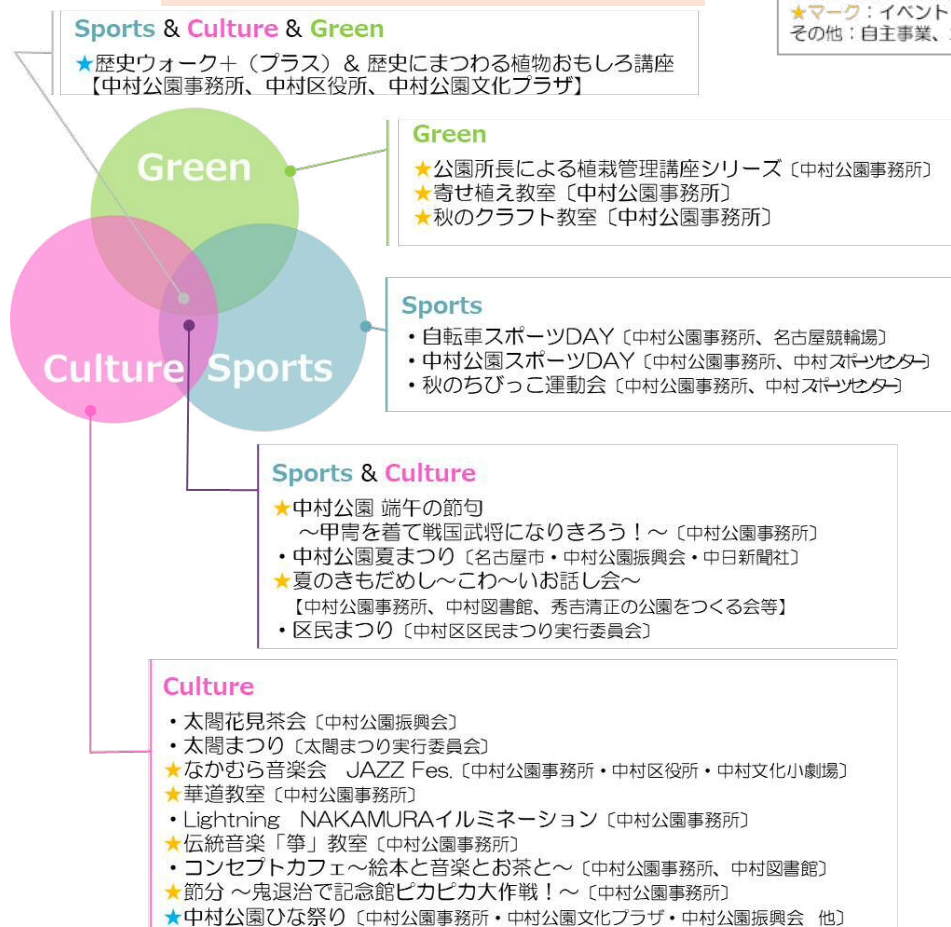
公園周辺の史跡やお寺をウォーキングで巡っていただき、記念館で戦国武将たちと植物の深い関係を読み解く、中村公園ならではの融合型イベント。

継続企画（抜粋）

★ 公園所長による植栽管理講座シリーズ

公園の維持管理（樹木剪定・芝刈・花壇管理・茶庭のお手入れ・竹垣の修繕など）を所長のアドバイスのもと体験していただきながら、知識や技術を学べる好評のシリーズ講座。

イベント・講習会の年間実施内容（下図）



★マーク：記念館等の歴史・文化資産を活かし、中村公園文化プラザ等周辺施設と連携した催事（年1回程度）
 ★マーク：イベント・講習会（年12回程度）
 その他：自主事業、地域のお祭り など

【広報・PR】

従来のメディア（新聞・チラシ・フリーペーパー雑誌・テレビ・ラジオ等）の活用と、Instagram等の各種SNS、YouTubeなど複数の情報発信ツールを活用する。

【協働（パートナーシップ）】

① 市民との協働

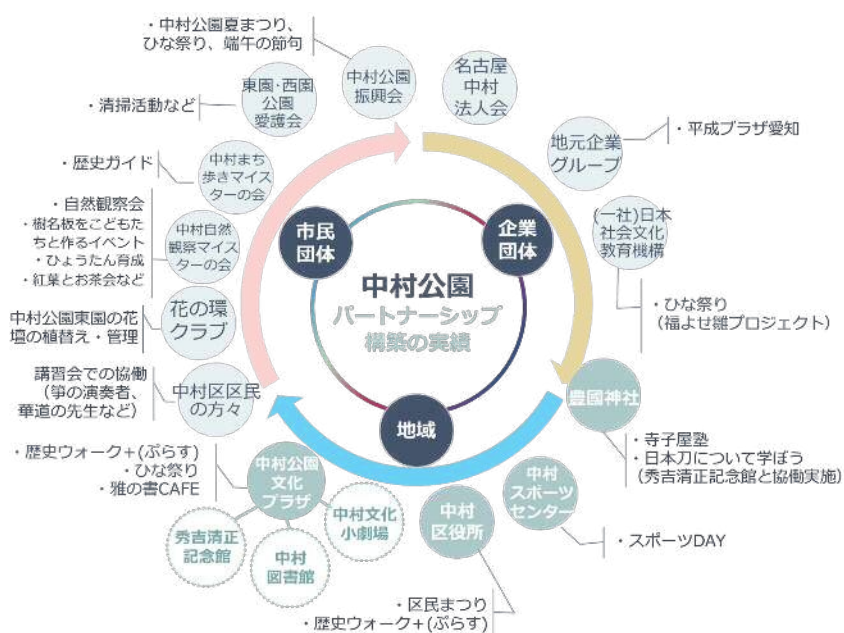
市民参加型の公園管理講座、花の環クラブとの花壇管理、公園愛護会の清掃活動など、市民とともに公園を守り育てる機会を拡大する。

② 地域との協働

近隣施設（中村公園文化プラザ、中村文化小劇場、中村スポーツセンター、豊國神社、名古屋競輪場 等）とのイベント・講習会での協働を推進し、地域活性化の一役を担う公園を目指す。

③ 企業との協働

地元の老舗和菓子店による和菓子づくり教室の開催、地元の花卉園芸店での花材・花苗の購入のほか、様々な企業の発案による公園利用者の利便性を高めるアイデアを積極的に導入する。



②自主事業（実施している場合）

【方針】中村公園の豊かな公園の資源に、文化やスポーツの要素を掛け合わせながら触れる機会を増やす。また、収益性を確保し、公園の魅力増進に還元する好循環を生み出せる提案を模索していく。

【新規企画（抜粋）】

➤新 自転車スポーツ DAY

隣接する名古屋競輪場との協働企画。中村公園東園を一体的に開放し、プロ競輪選手と一緒に BMX パンプトラックなど色々な自転車競技を体験できたり、こども向けの自転車教室・安全教室を開催する。（下記内容は一例）

- ・BMX パンプトラック体験会：仮設のパンプトラックを中村公園内に設置。はじめての方も気軽に体験できるようにする。
- ・サイクルストリート：モニター上にバンク（自転車競技の走路/トラック）の映像を映し出し、対戦したりタイムを計るなどの体験ができる装置を設置する。

➤新 中村公園スポーツ DAY＋秋のちびっこ運動会

隣接する中村スポーツセンターとの協働企画。例年のリフレッシュウォーキング・ヨガ教室と、さらにこども向けの内容を充実させ、かけっこ教室やリニューアルされた児童園を活用した大会などを同時開催する。

➤新 Plogging NAKAMURA

ゴミ拾いとジョギングを組み合わせたスウェーデン発のフィットネスで、認定プロギングリーダーの資格を有した弊社専門職員の指導のもと実施する（市内では、久屋大通公園や名城公園で実績あり）。

➤新 御庭印（おにわいん）を集めてお庭をめぐる！

白鳥庭園、徳川園、有楽苑（犬山市）の連携事業で企画している「御庭印（おにわいん）」に、中村公園も加わり、尾張三英傑の家紋をスタンプで集めながらお庭めぐりを楽しんでもいただく。中村公園は秀吉の馬印・千成瓢箪の紋を使用し、歴史ファンの更なる来園を促す。

【継続・発展事業】

・結婚式 THE 祝言（年8回目標）・結婚式前撮り・端午の節句（甲冑着付体験）・和菓子づくり教室・遊具の遊び方講座・クラフト教室 など

【駐車場の管理運営】

入出庫口のゲートについて毎年保守点検を実施する。緊急修理対応、着実な料金徴収業務（減免措置、利用予約の受付・予約駐車スペースへのコーン設置、車両誘導など）を遂行する。（公財）名古屋観光コンベンションビューローとの協働による広報の強化により、観光バスの誘致を引き続き図る。

【自主事業による収益の還元】

「結婚式 THE 祝言」「駐車場の管理運営」「自動販売機の管理運営」の各収益の25%を、公園の快適性、魅力アップ策に還元する。

（還元策の例）既設看板のリニューアル、樹名板の設置、花壇の植え替え、池周りの下草植栽、備品の購入（無料貸出のござ・レジャーシート等）、小規模修繕費

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<年度ごとの提案総額>

令和 6 年度	60,000 千円
令和 7 年度	60,000 千円
令和 8 年度	60,000 千円
令和 9 年度	60,000 千円
令和 10 年度	60,000 千円

<期間を通じた収支計画（指定期間を通じた項目別内訳）>

【収入】 (単位：千円)		【支出】 (単位：千円)	
区 分	金 額	区 分	金 額
指定管理料提示額(A)	300,000	人件費	76,400
行為許可利用料金（撮影）(B)	3,300	光熱水費	40,270
収益事業還元金(C)	300	管理費（植物管理費等）	145,945
収入合計	303,600	事務費（備品購入費等）	40,985
		支出合計	303,600

【経費節減について】

指定管理者の視点で、適正かつ効果的に管理運営費を執行し、徹底的な検証を行ない、「費用対効果」の意識の向上と、コスト縮減に向けた行動計画を策定する。

◆コスト縮減のための3つの視点：

「経費削減」「収入の拡大」「収益の還元」

【具体的な経費節減策】

- 効果的な植物管理計画として、大径木の枝おろし剪定を行なった樹木に関して、樹形を整える軽剪定に切り替え、維持管理費用を低減する。
- 施設・設備のライフサイクルコスト(LCC)と予防保全を考慮した経費削減
- 労務費にかかる経費節減（自前修繕・自前イベント運営の推進による外注費の抑制等）
- 良好な景観維持のためのメリハリの効いた維持管理（目標の明確化、作業優先度を設定）
- 光熱水費・省エネルギー対策による経費削減
 - ・管理事務所の蛍光灯や公園灯を順次 LED 等の高効率照明器具へ更新
 - ・会議室の照明やパソコン等の機器を使用しない時には、電源 OFF を実施
 - ・エアコンは夏季28度、冬季20度と設定し、省エネルギーでの運転を実施
 - ・大量に水を使用する散水栓などは、メインバルブを絞って減圧して節水
 - ・末端の水道蛇口に節水コマを取り付けにより節水を実施
- 樹木剪定や枯れ枝処理による枝をチップ化し、植栽地に敷きならすことで防草効果を促し、作業効率を向上させる。
- 竹林の間伐等で廃棄される竹材を、竹垣の更新や茶庭の笥、雨水桝の化粧蓋などに活用し、材料費を削減する。